

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）からのお知らせ

震災から15年が過ぎましたが、福島相双地域の営農再開は道半ばです。
官民合同チームでは、これからも農業者様の声を伺い、農業者様に寄り添って、営農再開の拡大に向けた様々なご支援を続けてまいります。
営農再開され、頑張られている農業者様や地域の話題を紹介いたします。



【浪江町での取組】

加倉の豊かな田園を未来へ！今年もおいしい新米が実りました！

浪江町加倉地区で、2025年1月に農事組合法人を設立した「加倉ファーム」さん。法人設立当初から9人の従業員で水稻栽培に取り組み、2025年は15haの圃場で「つくばSD2号」「コシヒカリ」「天のつづ」「福、笑い」の4品種を作付けしました。

「加倉の稲穂たなびく田園風景を再生する」を目標に掲げ、2026年は圃場面積を31haまで拡大し、約150tの収穫を目指して、現在収穫作業が進められています。

加倉地区の田園風景を次世代につなぐため、地域の農地を守り、規模を拡大しながら米づくりに取り組んでいます。

相双機構では、コシヒカリ・天のつづを中心としたお米の販路拡大をお手伝いさせていただきました。



<田植え風景>



<稲刈り風景>



<加倉ファームの皆さん>



【川俣町での取組】

川俣町の農業者の皆さんが「かわまたハーベストVol.4」を開催します！

今年も川俣町の農業者の皆さんが、手作りのマルシェイベント「かわまたハーベスト」を11/1(日)に開催（今年は、会場が「おしまふるさと交流館」に変わります）。「地域の農家さんのことを知ってもらいたい」「地産地消の農産物を食べるよろこびを分かち合いたい」「こどもたちに農業を身近に感じてもらいたい」という3つの想いを胸に、2023年から毎年開催されており、今年で4回目の開催です。

毎年、フード・ドリンク、物販、体験・ワークショップ等を多数出展し大盛況です。相双機構では、当日の運営等のお手伝いをさせていただきます。



<かわまたハーベストのスタッフの皆さん>



<野菜・果樹等の販売>



<キッチンカー・飲食スペース>



【川内村での取組】

川内野菜勉強会にて秋の収穫・定植を行いました！

川内野菜勉強会では、地域農業の復興と活性化を目指し、野菜栽培技術の向上や会員同士の情報交換に取り組んでいます。今年は夏野菜のナスや神楽南蛮の収穫、玉ねぎの播種、ブロッコリーなどの秋冬野菜の苗の植え付けを普及所指導員から学んだ栽培管理のポイントに気を付けながら実施をしていました。

また、学生インターンを受け入れ、地域農業への理解促進と人材育成にも取り組んでおり、今後も川内村農業の魅力向上と持続的な発展を目指した活動を展開していく予定です。

相双機構では、販路拡大や補助金活用等について、お手伝いをさせていただきます。



<定植の様子>



<収穫の様子>



<出荷作業の風景>



<川内野菜勉強会の皆さん>



被災12市町村の営農再開をご支援します。 営農再開や新規参入をご検討の皆様、ご相談ください。

福島相双復興推進機構 営農再開グループでは、国・福島県・市町村・JAなどの関係機関と連携し、農業者様を個別に訪問して、営農再開に向けた次のような支援活動を行っております。是非、ご活用を検討ください。皆様からのご連絡をお待ちしています。
ご相談やご支援は無料です。費用はかかりません。

新たな販路開拓のご相談

「販売先の開拓や確保がしたい」
「首都圏などに出荷したい」
このようなご相談には、専門家を派遣して販路開拓のご支援をします。

農業の技術的なご相談

「うまく栽培したい」
「どの作物の栽培がいいか」
「スマート農業に関心がある」
このようなご相談には、普及指導員などによる技術的なご支援をします。

補助金や制度活用のご相談

「農業機械を導入したい」
「補助金の申請方法を知りたい」
「農地の貸手や借手を探したい」
「農業法人を設立したい」
このようなご相談には、訪問員がアドバイスを行います。

対象となる
農業者様

原子力被災12市町村※で、農業を行われている方、
または、今後新たに農業を行う方
※ 田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、
川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村



福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム） 営農再開グループ

ご相談受付ダイヤル：024-502-1117

（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始を除く）

Webサイト <https://www.fsrt.jp>



営農再開グループの
ページはこちら →



今ここ 福島復興 < 各種公式ページはこちら >

